

平成 28 年度中学生チャレンジテスト出題範囲にかかる参考資料

大阪府教育委員会

平成 28 年度中学生チャレンジテストの出題範囲は、「平成 28 年度中学生チャレンジテスト 実施要領」に示しています。

本資料は、実施要領に示された出題範囲と指導内容を照らし合わせる際に、参考として活用いただけるよう、作成したものです。

◆中学校第 1 学年

【国語】（領域等別出題範囲）

以下は、学習指導要領記載の内容項目

A 話すこと・聞くこと	B 書くこと	C 読むこと	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項
(1) 話すこと・聞くことの能力を育成するため、次の事項について指導する。 アイウエオ (2) (1) に示す事項については、例えば、次のような言語活動を通して指導するものとする。 アイ	(1) 書くことの能力を育成するため、次の事項について指導する。 アイウエオ (2) (1) に示す事項については、例えば、次のような言語活動を通して指導するものとする。 アイウ	(1) 読むことの能力を育成するため、次の事項について指導する。 アイウエオカ (2) (1) に示す事項については、例えば、次のような言語活動を通して指導するものとする。 アイウ	(1) 「A 話すこと・聞くこと」、「B 書くこと」及び「C 読むこと」の指導を通して、次の事項について指導する。 ア (7) (イ) イ (7) (イ) (ウ) (エ) (オ) ウ (7) (イ) (2) 書写に関する次の事項について指導する。 アイ

《取り扱う題材》

- 文学的な文章，説明的な文章
- 児童・生徒の作文，発表原稿などの成果物，様々な非連続テキスト，書写（楷書）
- 古典，その他複数の題材を関連付けたもの

【数学】（領域別出題範囲）

以下は、学習指導要領解説及び国立教育政策研究所「評価基準の作成，評価方法等の工夫改善のための参考資料」記載の内容項目

A 数と式	B 図形	C 関数	D 資料の活用
(1) アイウエ 【正の数と負の数】 ・必要性和意味 ・四則計算とその意味 ・表現，処理 (2) アイウエ 【文字を用いた式】 ・必要性和意味 ・式の計算 ・表現，読み取り (3) アイウ 【一元一次方程式】 ・必要性和意味 ・解の意味 ・等式の性質 ・方程式を解く ・方程式の活用	(1) アイ 【平面図形】 ・基本的な作図とその活用 ・平行移動，対称移動及び回転移動	(1) アイウエオ 【比例と反比例】 ・関数関係の意味 ・比例，反比例の関係 ・座標の意味 ・比例，反比例の特徴 ・事象を捉え説明する	—

※ 「B 図形」(2) **アイウ**【空間図形と計量】，及び「D 資料の活用」(1) **アイ** は出題範囲から除く。

※ 「B 図形」の範囲から，「扇形」は除く。

《出題範囲を取り扱うページ》

発行者	単元名		ページ
東京書籍	1章 正負の数	4章 比例と反比例	P. 8～P. 164
	2章 文字と式	5章 平面図形	
	3章 方程式		
学校図書	1章 正の数・負の数	4章 比例と反比例	P. 12～P. 189
	2章 文字式	5章 平面図形	◆P. 168 のおうぎ形に ついての表記を除く
	3章 1次方程式		
教育出版	1章 正の数、負の数	4章 比例と反比例	P. 9～P. 191
	2章 文字と式	5章 平面図形	◆P. 171（おうぎ形につ いての表記）を除く
	3章 方程式		
啓林館	1章 正の数・負の数	4章 変化と対応	P. 12～P. 157
	2章 文字の式	5章 平面図形	
	3章 方程式		
数研出版	第1章 正の数と負の数	第4章 比例と反比例	P. 12～P. 161
	第2章 文字と式	第5章 平面図形	
	第3章 1次方程式		
日本文教出版	1章 正の数と負の数	4章 比例と反比例	P. 10～P. 187
	2章 文字と式	5章 平面図形	◆P. 168 のおうぎ形に ついての表記を除く
	3章 方程式		

※ 上記以外のページにある資料等（年表、演習、コラムなど）で、上記出題範囲の内容であるものも含む。

【英語】（領域別出題範囲）

以下は、学習指導要領記載の内容項目

(1) ア 聞くこと	(1) イ 話すこと	(1) ウ 読むこと	(1) エ 書くこと
(ア) (イ) (ウ) (エ) (オ)	—	(ア) (イ) (ウ) (エ) (オ)	(ア) (イ) (ウ) (エ) (オ)

《取り扱う言語材料について》

- 単文、重文
- 肯定及び否定の平叙文（現在形）
- 肯定及び否定の命令文
- 疑問文のうち、動詞（現在形）で始まるもの、助動詞（do, does）で始まるもの及び疑問詞（how, what, where, who, whose）で始まるもの
- 名詞の単数形及び複数形
- 文構造
 - [主語＋動詞]
 - [主語＋動詞＋補語] のうち、主語＋be 動詞＋

名詞
代名詞
形容詞
 - [主語＋動詞＋目的語] のうち、主語＋動詞＋

名詞
代名詞
- 代名詞のうち、人称、指示、疑問を表すもの
- 音声に関するもの

《出題範囲を取り扱うページ》

発行者	単元名	ページ
東京書籍	Hi, English! Unit0～9 Presentation2	P. 4～P. 105
開隆堂	Let' s Start PROGRAM1～9 Power-up⑨Reading	P. 6～P. 97
学校図書	Pre-lesson Let' s Start Lesson1～8	P. 4～P. 106
三省堂	Get Ready Lesson1～8	P. 6～P. 105
教育出版	Springboard Lesson1～7	P. 2～P. 96

※ 上記以外のページにある資料等（年表、演習、コラムなど）で、上記出題範囲の内容であるものも含む。

◆中学校第2学年

【国語】（領域等別出題範囲）

以下は、学習指導要領記載の内容項目

A 話すこと・聞くこと	B 書くこと	C 読むこと	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項
(1) 話すこと・聞くことの能力を育成するため、次の事項について指導する。 アイウエオ (2) (1) に示す事項については、例えば、次のような言語活動を通して指導するものとする。 アイ	(1) 書くことの能力を育成するため、次の事項について指導する。 アイウエオ (2) (1) に示す事項については、例えば、次のような言語活動を通して指導するものとする。 アイウ	(1) 読むことの能力を育成するため、次の事項について指導する。 アイウエオ (2) (1) に示す事項については、例えば、次のような言語活動を通して指導するものとする。 アイウ	(1) 「A 話すこと・聞くこと」、「B 書くこと」及び「C 読むこと」の指導を通して、次の事項について指導する。 ア (7) (イ) イ (7) (イ) (ウ) (エ) (オ) ウ (7) (イ) (2) 書写に関する次の事項について指導する。 アイ

《取り扱う題材》

- 文学的な文章，説明的な文章
- 児童・生徒の作文，発表原稿などの成果物，様々な非連続テキスト，書写（行書）
- 古典，その他複数の題材を関連付けたもの

【社会】（分野別出題範囲）

※各学校は、自校の学習進度等に応じて、下記の2種類（「A問題」「B問題」）から選択する。

◇A問題

以下は、学習指導要領記載の内容項目

地理的分野	歴史的分野
(2) 日本の様々な地域 イ 世界と比べた日本の地域的特色 (イ) (ウ) (エ) (7) 自然環境を除く ウ 日本の諸地域（九州，中国・四国，近畿，中部，関東，東北，北海道）	(4) 近世の日本 アイウエ

《出題範囲を取り扱うページ》

＜地理的分野＞

発行者	地理的分野	ページ
東京書籍	第2章 世界から見た日本のすがた	P. 138～P. 232
	第3章 日本の諸地域	
教育出版	第2章 世界からみた日本のすがた	P. 140～P. 248
	第3章 日本の諸地域	
帝国書院	2章 世界と比べた日本の地域的特色	P. 142～P. 259
	3章 日本の諸地域	
日本文教出版	第2章 世界からみた日本の姿	P. 154～P. 275
	第3章 日本の地方のようす	

※ 上記以外のページにある資料等（年表、演習、コラムなど）で、上記出題範囲の内容であるものも含む。

＜歴史的分野＞

発行者	歴史的分野	ページ
東京書籍	第4章 近世の日本	P. 89～P. 121
		P. 124～P. 130
教育出版	第4章 近世の日本と世界	P. 83～P. 126
帝国書院	第4部 武家政権の展開と世界の動き	P. 81～P. 123
		P. 126～P. 132
日本文教出版	第4編 近世の日本	P. 94～P. 145

※ 上記以外のページにある資料等（年表、演習、コラムなど）で、上記出題範囲の内容であるものも含む。

◇B 問題

以下は、学習要領解説記載の内容項目

地理的分野	歴史的分野
(2) 日本の様々な地域 ア 日本の地域構成 イ 世界と比べた日本の地域的特色 (7) (イ) (ウ) (エ) ウ 日本の諸地域（九州、中国・四国、近畿、中部）	(4) 近世の日本 ウエ (5) 近代の日本と世界 アイ 及び ウ の一部（帝国議会開設まで）

《出題範囲を取り扱うページ》

＜地理的分野＞

発行者	地理的分野	ページ
東京書籍	第1章 日本のすがた	P. 113～P. 199
	第2章 世界から見た日本のすがた	
	第3章 日本の諸地域	
教育出版	第1章 日本の地域構成	P. 121～P. 207
	第2章 世界からみた日本のすがた	
	第3章 日本の諸地域	

帝国書院	1 章 日本の姿	P. 119～P. 219
	2 章 世界と比べた日本の地域的特色	
	3 章 日本の諸地域	
日本文教出版	第 1 章 私たちが住む日本	P. 118～P. 183
	第 2 章 世界からみた日本の姿	P. 220～P. 275
	第 3 章 日本の地方のようす	

※ 上記以外のページにある資料等（年表、演習、コラムなど）で、上記出題範囲の内容であるものも含む。

<歴史的分野>

発行者	歴史的分野	ページ
東京書籍	第 4 章 近世の日本	P. 112～P. 159
	第 5 章 開国と近代日本の歩み	
教育出版	第 4 章 近世の日本と世界	P. 108～P. 165
	第 5 章 近代の幕開け	
	第 6 章 近代の日本と世界	
帝国書院	第 4 部 武家政権の展開と世界の動き	P. 112～P. 167
	第 5 部 近代国家の歩みと国際社会	
日本文教出版	第 4 編 近世の日本	P. 126～P. 187
	第 5 編 近代の日本と世界	

※ 上記以外のページにある資料等（年表、演習、コラムなど）で、上記出題範囲の内容であるものも含む。

【数学】（領域別出題範囲）

以下は、学習指導要領解説及び国立教育政策研究所「評価規準の作成、評価方法等の工夫改善のための参考資料」記載の内容項目

A 数と式	B 図形	C 関数	D 資料の活用
(1) アイウ 【文字を用いた式】 ・ 整式の加法、減法 ・ 単項式の乗法、除法 ・ 表現、説明 ・ 式の変形 (2) アイウ 【連立二元一次方程式】 ・ 必要性和意味 ・ 解の意味 ・ 方程式を解く ・ 方程式の活用	(1) アイ 【平行線の性質】 ・ 平行線や角の性質 ・ 多角形の角の性質 (2) アイ 【合同条件と証明】 ・ 合同の意味 ・ 三角形の合同条件 ・ 証明の必要性和意味 ・ 証明の方法	(1) アイウエ 【一次関数】 ・ 一次関数の関係 ・ 一次関数の特徴 ・ 二元一次方程式 ・ 事象を捉え説明する	—

※ 「B 図形」(2)ウ（三角形と平行四辺形）、及び「D 資料の活用」(1)アイ は出題範囲から除く。

《出題範囲を取り扱うページ》

発行者	単元名		ページ
東京書籍	1 章 式の計算	3 章 1 次関数	P. 8～P. 121
	2 章 連立方程式	4 章 平行と合同	
学校図書	1 章 式の計算	3 章 1 次関数	P. 12～P. 137
	2 章 連立方程式	4 章 図形の性質の調べ方	

教育出版	1 章 式の計算	3 章 1 次関数	P. 9～P. 140
	2 章 連立方程式	4 章 平行と合同	
啓林館	1 章 式の計算	3 章 一次関数	P. 12～P. 117
	2 章 連立方程式	4 章 図形の調べ方	
数研出版	第 1 章 式の計算	第 3 章 1 次関数	P. 14～P. 127
	第 2 章 連立方程式	第 4 章 図形の性質と合同	
日本文教出版	1 章 式の計算	3 章 1 次関数	P. 10～P. 134
	2 章 連立方程式	4 章 図形の性質と合同	

※ 上記以外のページにある資料等（年表、演習、コラムなど）で、上記出題範囲の内容であるものも含む。

【理科】（分野別出題範囲）

※各学校は、自校の学習進度等に応じて、下記の 2 種類（「A 問題」「B 問題」）から選択する。

◇ A 問題

以下は、学習指導要領記載の内容項目

第 1 分野		第 2 分野	
物理的領域	化学的領域	生物的領域	地学的領域
(3) 電流とその利用 ア 電流 (7) 回路と電流・電圧 (4) 電流・電圧と抵抗	(4) 化学変化と原子・分子 ア 物質の成り立ち イ 化学変化 ウ 化学変化と物質の質量	(3) 動物の生活と生物の変遷 ア 生物と細胞 イ 動物の体のつくりと働き ウ 動物の仲間 エ 生物の変遷と進化	—

《出題範囲を取り扱うページ》

発行者	単元名	ページ
東京書籍	単元 1 化学変化と原子・分子	P. 10～P. 83
	単元 2 動物の生活と生物の変遷	P. 84～P. 153
	単元 4 電気の世界	P. 224～P. 243
大日本図書	単元 1 化学変化と原子・分子	P. 7～P. 80
	単元 2 動物の生活と生物の進化	P. 81～P. 158
	単元 3 電流とその利用	P. 162～P. 187
学校図書	A-3 化学変化と原子・分子	P. 5～P. 64
	A-4 電流とそのはたらき	P. 68～P. 94
	B-3 動物の世界	P. 141～P. 216
啓林館	生命 動物の生活と生物の進化	P. 2～P. 63
	物質 化学変化と原子・分子	P. 118～P. 181
	エネルギー 電流の性質とその利用	P. 184～P. 206

※ 上記以外のページにある資料等（年表、演習、コラムなど）で、上記出題範囲の内容であるものも含む。

◇ B問題

以下は、学習指導要領記載の内容項目

第1分野		第2分野	
物理的領域	化学的領域	生物的領域	地学的領域
—	(4) 化学変化と原子・分子 ア 物質の成り立ち イ 化学変化 ウ 化学変化と物質の質量	(3) 動物の生活と生物の変遷 ア 生物と細胞 イ 動物の体のつくりと働き ウ 動物の仲間 エ 生物の変遷と進化	(4) 気象とその変化 ア 気象観測 イ 天気の変化 (7) 霧や雲の発生 (4) 前線の通過と天気の変化 <u>の一部分（高気圧、低気圧のまわりの風の吹き方）</u>

《出題範囲を取り扱うページ》

発行者	単元名	ページ
東京書籍	単元1 化学変化と原子・分子	P. 10～P. 83
	単元2 動物の生活と生物の変遷	P. 84～P. 153
	単元3 天気とその変化	P. 156～P. 173
大日本図書	単元1 化学変化と原子・分子	P. 7～P. 80
	単元2 動物の生活と生物の進化	P. 81～P. 158
	単元4 気象のしくみと天気の変化	P. 234～P. 260
学校図書	A-3 化学変化と原子・分子	P. 5～P. 64
	B-3 動物の世界	P. 141～P. 216
	B-4 天気とその変化	P. 220～P. 243
啓林館	生命 動物の生活と生物の進化	P. 2～P. 63
	地球 地球の大気と天気の変化	P. 66～P. 91
	物質 化学変化と原子・分子	P. 118～P. 181

※ 上記以外のページにある資料等（年表、演習、コラムなど）で、上記出題範囲の内容であるものも含む。

【英語】（領域別出題範囲）

以下は、学習指導要領記載の内容項目

(1)ア 聞くこと	(1)イ 話すこと	(1)ウ 読むこと	(1)エ 書くこと
(ア) (イ) (ウ) (エ) (オ)	—	(ア) (イ) (ウ) (エ) (オ)	(ア) (イ) (ウ) (エ) (オ)

《取り扱う言語材料について》

- 単文、重文及び複文
- 肯定及び否定の平叙文
- 肯定及び否定の命令文
- 疑問文のうち、動詞で始まるもの、助動詞（can, do, may など）で始まるもの、or を含むもの及び疑問詞（how, what, when, where, which, who, whose, why）で始まるもの

○文構造

- [主語＋動詞]
- [主語＋動詞＋補語]のうち、主語＋be 動詞＋ $\left\{ \begin{array}{l} \text{名詞} \\ \text{代名詞} \\ \text{形容詞} \end{array} \right\}$ ，主語＋be 動詞以外の動詞＋ $\left\{ \begin{array}{l} \text{名詞} \\ \text{形容詞} \end{array} \right\}$
- [主語＋動詞＋目的語]のうち、主語＋動詞＋ $\left\{ \begin{array}{l} \text{名詞} \\ \text{代名詞} \\ \text{動名詞} \\ \text{to 不定詞} \\ \text{that で始まる節} \end{array} \right\}$
- [主語＋動詞＋間接目的語＋直接目的語]のうち、主語＋動詞＋間接目的語＋ $\left\{ \begin{array}{l} \text{名詞} \\ \text{代名詞} \end{array} \right\}$
- There ＋ be 動詞＋～

○代名詞

- 人称、指示、疑問、数量を表すもの

○動詞の時制など

- 現在形、過去形、現在進行形、過去進行形及び助動詞などを用いた未来表現

○to 不定詞のうち、名詞としての用法及び副詞としての用法

○動名詞

○have to, don't have to

○音声に関するもの

《出題範囲を取り扱うページ》

発行者	単元名	ページ
東京書籍	Unit0～6	P. 4～P. 89
開隆堂	Classroom English PROGRAM1～8	P. 6～P. 79
学校図書	Pre-lesson Lesson1～Check It Out⑧	P. 6～P. 99
三省堂	Lesson1～7	P. 6～P. 91
教育出版	Lesson1～7	P. 4～P. 88

※ 上記以外のページにある資料等（年表、演習、コラムなど）で、上記出題範囲の内容であるものも含む。

◆中学校第3学年

【国語】（領域等別出題範囲）

以下は、学習指導要領に記載された第1，第2学年の内容項目

A 話すこと・聞くこと	B 書くこと	C 読むこと	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項
(1) 話すこと・聞くことの能力を育成するため、次の事項について指導する。 アイウエオ (2) (1) に示す事項については、例えば、次のような言語活動を通して指導するものとする。 アイ	(1) 書くことの能力を育成するため、次の事項について指導する。 アイウエオ (2) (1) に示す事項については、例えば、次のような言語活動を通して指導するものとする。 アイウ	(1) 読むことの能力を育成するため、次の事項について指導する。 アイウエオカ (2) (1) に示す事項については、例えば、次のような言語活動を通して指導するものとする。 アイウ	(1) 「A 話すこと・聞くこと」，「B 書くこと」及び「C 読むこと」の指導を通して、次の事項について指導する。 ア(7)(イ) イ(7)(イ)(ウ)(エ)(オ) ウ(7)(イ) (2) 書写に関する次の事項について指導する。 アイ

《取り扱う題材》

- 文学的な文章，説明的な文章
- 児童・生徒の作文，発表原稿などの成果物，様々な非連続テキスト，書写（楷書と行書）
- 古典，その他複数の題材を関連付けたもの

《出題範囲を取り扱うページ》

- 中学校2年生までに学習したすべての内容

【社会】（分野別出題範囲）

以下は、学習指導要領記載の内容項目

地理的分野	歴史的分野
(1) 世界の様々な地域 ア 世界の地域構成 イ 世界各地の人々の生活と環境 ウ 世界の諸地域 (7)(イ)(ウ)(エ)(オ)(カ) エ 世界の様々な地域の調査 (2) 日本の様々な地域 ア 日本の地域構成 イ 世界と比べた日本の地域的特色 (7)(イ)(ウ)(エ) ウ 日本の諸地域 (7)(イ)(ウ)(エ)(オ)(カ)(キ) エ 身近な地域の調査	(1) 歴史のとらえ方 (2) 古代までの日本 アイウ (3) 中世の日本 アイ (4) 近世の日本 アイウエ (5) 近代の日本と世界 アイウエオ

《出題範囲を取り扱うページ》

- 地理的分野：地理の教科書のすべての内容
- 歴史的分野

発行者	歴史的分野	ページ
東京書籍	「第6章 1節 第一次世界大戦と日本」まで	P. 5～P. 197
教育出版	「第7章 2 大正デモクラシー」まで	P. 4～P. 205
帝国書院	「第5部 6章 高まるデモクラシーの意識」まで	P. 1～P. 201
日本文教出版	「第5編 第2章 2 大正デモクラシーの時代」まで	P. 6～P. 219

※ 上記以外のページにある資料等（年表、演習、コラムなど）で、上記出題範囲の内容であるものも含む。

【数学】（領域別出題範囲）

以下は、学習指導要領解説及び国立教育政策研究所「評価規準の作成、評価方法等の工夫改善のための参考資料」記載の内容項目

A 数と式	B 図形	C 関数	D 資料の活用
中学校第1学年 (1) アイウエ 【正の数と負の数】 ・必要性と意味 ・四則計算とその意味 ・表現、処理 (2) アイウエ 【文字を用いた式】 ・必要性と意味 ・式の計算 ・表現、読み取り (3) アイウ 【一元一次方程式】 ・必要性と意味 ・解の意味 ・等式の性質 ・方程式を解く ・方程式の活用 中学校第2学年 (1) アイウ 【文字を用いた式】 ・整式の加法、減法 ・単項式の乗法、除法 ・表現、説明 ・式の変形 (2) アイウ 【連立二元一次方程式】 ・必要性と意味 ・解の意味 ・方程式を解く ・方程式の活用 中学校第3学年 (2) アイウ 【式の展開と因数分解】 ・単項式と多項式の乗除 ・式の展開と因数分解 ・文字式を用いて説明する ・自然数と素因数分解	中学校第1学年 (1) アイ 【平面図形】 ・基本的な作図とその活用 ・平行移動、対称移動及び回転移動 (2) アイウ 【空間図形】 ・直線や平面の位置関係 ・運動による構成 ・空間図形の平面上への表現と読み取り ・図形の計量 中学校第2学年 (1) アイ 【平行線の性質】 ・平行線や角の性質 ・多角形の角の性質 (2) アイウ 【合同条件と証明】 ・合同の意味 ・三角形の合同条件 ・証明の必要性と意味 ・証明の方法 ・三角形と平行四辺形の性質及び証明	中学校第1学年 (1) アイウエオ 【比例と反比例】 ・関数関係の意味 ・比例、反比例の関係 ・座標の意味 ・比例、反比例の特徴 ・事象を捉え説明する 中学校第2学年 (1) アイウエ 【一次関数】 ・一次関数の関係 ・一次関数の特徴 ・二元一次方程式 ・事象を捉え説明する	中学校第1学年 (1) アイ 【資料の活用】 ・ヒストグラムの必要性和意味 ・代表値の必要性和意味 ・傾向を捉え説明する 中学校第2学年 (1) アイ 【確率】 ・必要性和意味 ・確立を求める ・事象を捉え説明する

《出題範囲を取り扱うページ》

○1, 2年生の教科書のすべての内容

○3年生

発行者	単元名	ページ
東京書籍	1章 多項式	P. 8～P. 35
学校図書	1章 式の計算	P. 12～P. 45
教育出版	1章 式の計算	P. 9～P. 44
啓林館	1章 式の展開と因数分解	P. 12～P. 39
数研出版	1章 式の計算	P. 14～P. 43
日本文教出版	1章 式の展開と因数分解	P. 10～P. 45

※ 上記以外のページにある資料等（年表、演習、コラムなど）で、上記出題範囲の内容であるものも含む。

【理科】（分野別出題範囲）

以下は、学習指導要領記載の内容項目

第1分野		第2分野	
物理的領域	化学的領域	生物的領域	地学的領域
(1) 身近な物理現象 ア 光と音 イ 力と圧力 (3) 電流とその利用 ア 電流 イ 電流と磁界	(2) 身の回りの物質 ア 物質のすがた イ 水溶液 ウ 状態変化 (4) 化学変化と原子・分子 ア 物質の成り立ち イ 化学変化 ウ 化学変化と物質の質量	(1) 植物の生活と種類 ア 生物の観察 イ 植物の体のつくりと働き ウ 植物の仲間 (3) 動物の生活と生物の変遷 ア 生物と細胞 イ 動物の体のつくりと働き ウ 動物の仲間 エ 生物の変遷と進化	(2) 大地の成り立ちと変化 ア 火山と地震 イ 地層の重なりと過去の様子 (4) 気象とその変化 ア 気象観測 イ 天気の変化 ウ 日本の気象

《出題範囲を取り扱うページ》

○ 1, 2 年生の教科書のすべての内容

【英語】（領域別出題範囲）

以下は、学習指導要領記載の内容項目

(1)ア 聞くこと	(1)イ 話すこと	(1)ウ 読むこと	(1)エ 書くこと
(ア) (イ) (ウ) (エ) (オ)	—	(ア) (イ) (ウ) (エ) (オ)	(ア) (イ) (ウ) (エ) (オ)

《取り扱う言語材料について》

- 単文、重文及び複文
- 肯定及び否定の平叙文
- 肯定及び否定の命令文
- 疑問文のうち、動詞で始まるもの、助動詞（can, do, may など）で始まるもの、or を含むもの及び疑問詞（how, what, when, where, which, who, whose, why）で始まるもの

○文構造

- [主語＋動詞]
- [主語＋動詞＋補語] のうち、主語＋be 動詞＋ $\left\{ \begin{array}{l} \text{名詞} \\ \text{代名詞} \\ \text{形容詞} \end{array} \right\}$ ，主語＋be 動詞以外の動詞＋ $\left\{ \begin{array}{l} \text{名詞} \\ \text{形容詞} \end{array} \right\}$
- [主語＋動詞＋目的語] のうち、主語＋動詞＋ $\left\{ \begin{array}{l} \text{名詞} \\ \text{代名詞} \\ \text{動名詞} \\ \text{to 不定詞} \\ \text{that で始まる節} \end{array} \right\}$
- [主語＋動詞＋間接目的語＋直接目的語] のうち、主語＋動詞＋間接目的語＋ $\left\{ \begin{array}{l} \text{名詞} \\ \text{代名詞} \end{array} \right\}$
- There ＋ be 動詞＋～

○代名詞

- 人称、指示、疑問、数量を表すもの

○動詞の時制など

- 現在形、過去形、現在進行形、過去進行形及び助動詞などを用いた未来表現

○形容詞及び副詞の比較表現

○to 不定詞のうち、名詞としての用法及び副詞としての用法

○動名詞

○受け身

○音声に関するもの

《出題範囲を取り扱うページ》

○1，2年生の教科書のすべての内容

○3年生

発行者	単元名	ページ
東京書籍	Unit0 Unit1	P. 4～P. 15
開隆堂	Classroom English PROGRAM1	P. 6～P. 15
学校図書	Pre-lesson Lesson1	P. 5～P. 15
三省堂	Lesson1	P. 6～P. 10
教育出版	Lesson1	P. 4～P. 13

※ 上記以外のページにある資料等（年表、演習、コラムなど）で、上記出題範囲の内容であるものも含む。